

第11回 県有施設・県出資団体等調査特別委員会資料

公の施設等について
～国民宿舎「鶉の岬」等の取組状況報告～

(営業戦略部)

令和6年9月3日(火)

○施設名 国民宿舎「鵜の岬」等

1 報告の趣旨

- 調査特別委員会（第3回、第5回及び第7回）において、国民宿舎「鵜の岬」等に係る審議をいただき、その結果を踏まえ現在の状況及び今後の予定について報告するもの。

2 取組状況

- 現在、料金改定も含めた収益構造の改善策や多様化する宿泊ニーズなどに対応していくためのターゲット層の拡大策、更なる設備投資やサービス拡充などについて、県と（公財）茨城県開発公社との間で意見交換を行っている。
- 具体的には、近年の物価高騰や電気料・人件費上昇分に対応するため、令和5年6月から実施した食事料金・配膳料の値上げの効果等について検証し、その上で、将来の大規模修繕等に備えた宿泊料金の値上げに係る収支シミュレーションや料金設定の柔軟化などについて、（公財）茨城県開発公社との協議を進めている。
- なお、宿泊料金の値上げは、利用者の選択行動にも影響するため、他県の国民宿舎等の料金水準との比較（公共性）、県内公的宿泊施設等と比較した市場性やサービス内容との妥当性なども考慮しながら設定する必要がある。

3 今後の予定

- 幅広い客層を取り込むため、令和6年12月から電話予約と併用して鵜の岬公式ホームページ上でのインターネット予約システムを導入する。
- 近年の経済情勢を踏まえるとともに、将来の大規模修繕等に備えた適正な料金設定について速やかに検討を進めていく。